

これまでの展覧会/これからの展覧会

18年度に開催した展覧会

- いわての風景画展 part1 澤口健・佐藤勝馬・藤沼源三・橋本正・海野経
- 村上善男展 1950年代を中心に 冷たい計算から熱い混沌へ……
- ISHIGAMI ART WALK 2006 いわての現代美術と出会う、夏。
石川美奈子・鎌田紀子・出町隼人・浪岡奈津子・原田拓・三河涉
- 大宮政郎人動説アートの世界 The art of homo-movens theory
- 新収蔵品を中心とした企画展 コレクション/Collection
- 岩手町小中学校・高校絵画コンクール作品展
- 岩手県立沼宮内高等学校 美術部・写真部・書道部合同展
- 第8回岩手町埋蔵文化財展 岩手町の県指定史跡
- 石神の丘美術館コレクション展 ー県人作家を中心にー

18年度に開催した展覧会は9本。特設コーナーにて郷土の画家・澤口健さんの作品紹介した「いわての風景画展」や、初めて屋外展示場と企画展示室両方を利用して開催した「いわての現代美術と出会う、夏」はこれからも継続して行います。

これから開催する展覧会

※展覧会タイトルは仮称です。また、会期・内容などが変更になる場合があります。

□3/6(火)～4/22(日) 石神の丘美術館コレクション展

当館の収蔵作品から、郷土の画家・齋藤忠誠を中心に、県ゆかりの作家の作品を展示。

□4/28(土)～6/17(日) ネイチャーフォト展

「いわてネイチャーフォトクラブ」が撮影された自然写真を紹介。当館を撮影した作品も。

□6/30(土)～8/26(日) 岩手町博覧会

道の駅開業・美術館リニューアル5周年記念。岩手町の歴史・民俗・産業・自然などを紹介。

□9/1(土)～10/8(月・祝) 宇津宮功展

「いわて北の作家シリーズ・12」盛岡市生まれ、フランス在住の画家の初期から最近作まで。

□10/20(土)～11/25(日) 嶋屋征一展

「いわて北の作家シリーズ・13」岩手町で誕生した美術団体「エコール・ド・エヌ」会員。

今月の「アートサイト」は、休載します

平成19年3月1日発行(毎月1日発行) 発行・岩手町立 石神の丘美術館
〒028-4307 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477
HPもご覧ください! <http://museum.ishigami-iwate.jp>

石神の丘美術館通信《いしば》

ishibi

2007.3.1 Vol.53

早くも梅や桜のたよりが聞こえてくるようになりました。岩手の春も例年より早いのでしょうか。美術館では、昨年秋に、産直有志の方々よりご寄付いただいた、水仙の球根をたくさん植えており、開花を楽しみにしています。例年だと、4月にはいつてからなのですが、さて、どうでしょうか。

2月11日(日)美術館ホールでは、「手づくり講座 チョコレートのキャンバスに絵を描こう」を開催しました。小さなショコラティエ(チョコレート職人のこと)兼アーティストたちは、ホワイトチョコレートでできたキャンバスに絵具代わりの食用色素や製菓材料で素敵な絵を描きました。



3月6日(火)から企画展示室では、「石神の丘美術館コレクション展ー県人作家を中心に」がはじまりました。今回は、当館収蔵品の中から、岩手町出身の画家・齋藤忠誠の油彩画を中心に、岩手県ゆかりの作家の作品に焦点を当て紹介しています。例えば、「齋藤忠誠展」を皮切りに美術館がリニューアルオープンしてから、もうすぐ5年になります。これまで、コレクション展などの機会に、忠誠さんの作品を数点紹介することはありましたが、10点以上の作品をまとめて展示するのは久しぶりのことです。改めて、地元の画家の作品と向き合ってみませんか。きっと新しい発見があることでしょう。

先月ホールで開催していた「岩手町ふるさとかるた展」は好評につき、3月25日(日)まで会期を延長します。ぜひ、企画展とあわせてお楽しみください。

石神の丘美術館 コレクション展 ー県人作家を中心にー

会 期:2007年3月6日(火)～4月22日(日)
開館時間:午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日:3/12(月)、19(月)、26(月) 4月からは無休
観 覧 料:一般200円/大・高100円/中学生以下無料



石神の丘美術館コレクション展 県人作家を中心に



齋藤忠誠《顔A》
油彩、キャンバス/1950年

今展では、地元岩手町の画家・齋藤忠誠の油彩画を中心に、当館収蔵品の中から岩手県にゆかりのある作家の作品に焦点を当ててご紹介します。

美術集団「エコール・ド・エヌ」の結成(1957年)、「岩手町国際石彫シンポジウム」(1973年開始、齋藤の没後も2002年まで継続)の開催など、芸術文化の普及奨励に大きな足跡を残した齋藤ですが、当館収蔵の作品といって真っ先に思い付くのは、ミュージアムショップで販売している絵葉書[《顔》、《顔A》、《相対性構成の連関形象(1)》、《坩堝-オン》、《綾襦》]の5点の油彩画という方も多いのではないのでしょうか。しかし、実物を目にする機会はほとんどありません。そこで、絵葉書からではなかなか掴むことの出来ない、実際の作品が持つ迫力を感じ取っていただこうと、まずこの5点を展示することにしました。また、齋藤作品は具象から出発し、様々な技法を試みながら抽象へと展開して行きますが、様式の変遷を概観出来るよう、それぞれの作品を年代・様式順に並べ、齋藤がどのような軌跡を辿って来たのか、分かりやすくご覧いただけるようにしました。地元岩手町の方には齋藤作品の再発見を、町外の方には齋藤忠誠という画家とその功績を少しでも知っていただければ幸いです。

齋藤以外では、舞田文雄、舟越保武、大宮政郎、照井榮、村上善男、百瀬寿、小野隆生、戸村茂樹、舟越桂各氏の所蔵作品を展示するほか、平成18年度に新しく収蔵した県人の作品をご紹介します。どれが新収蔵作品なのか、キャプション(作品の脇に付いている小さな札。作家名、作品名、技法、制作年などが記されています)をよく見ると書かれてありますよ。

3月6日(火)「石神の丘美術館コレクション展」 開催初日からの開館時間と休館日について

通常3月は冬時間(16時閉館)で開館していますが、
3月6日(火)より開館時間を次のように変更します。

開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:3月12日(月)、19日(月)、26日(月)

キャプション(作品の脇に付いている小さな札。作家名、作品名、技法、制作年などが記されています)をよく見ると書かれてありますよ。

水仙 (ヒガンバナ科)

学名:Narcissus



美術館では、昨年秋に、隣接する道の駅の産直組合員有志の方からご寄付いただいた水仙の球根およそ1,500球を屋外展示場出入口右手の斜面に植えました。香りがよく、春一番に咲き始める水仙。開花が楽しみです。

ところで、水仙は、学名を「Narcissus(ナルキッソス)」といいます。これは、自分の姿にのみ恋をするという罰を受け、水面に映る自分の姿の虜となり、やがてやせ細って死んでしまったギリシア神話に登場する美しい青年の名前です。亡くなった場所に水仙が咲いたという伝承が学名の語源となっています。自己愛が強い人のことを「ナルシスト」といいますが、その語源も「ナルキッソス」にあるそうです。

毎月発行している、美術館通信 ishibi(イシビ)は、昨年12月で50号を数えました。このことを記念して、美術館ショップコーナーでは、創刊号から50号までを1冊にまとめた合本を限定販売しています。

■通常版(A5サイズ) 3,000円

■特装版(A4サイズ) 3,500円

好評につき3/25まで会期延長 ホールの小さな展覧会 岩手町ふるさとかるた展

千葉美保子さん(沼宮内)が制作した「岩手町ふるさとかるた」の読み札や解説、絵札原画[制作・武田吉孝さん(一方井)]を紹介しています。かるた遊びもできますよ。

美術館隣接 道の駅・レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」TEL0195-61-1600まで

産直・春のイベント情報

もうすぐ春。山菜や春野菜が待ち遠しいですね。道の駅では、季節にあわせてお得で楽しいイベントを開催しています。今回お知らせするのは、春のイベント情報!ぜひ、お出かけの参考にしてくださいね。

5/3(木・祝)~6(日)

春の苗木フェア



花の苗や寄せ植え、苗木などで華やかな庭づくりはいかが。春野菜もそろいます。

5/27(日)

フリーマーケット in 石神の丘



毎年大好評のフリーマーケット。買うのも楽しいけれど、出店するのもたのしいですよ。(内容など詳しくはお問合せください)



きじ御膳

岩手町特産の「きじ」をじっくり楽しめる御膳ができました。ほかでは味わえない特別メニューです。

- きじもも肉のクリーム煮
- きじむね肉のサラダ
- きじむね肉のやま芋ロールフライ
- きじむね肉のロースト
- ブルーベリーソース
- きじささ身のカルパッチョ
- きじご飯
- きじつくねラーメン
- 1,500円(税込)

【上記へご予約ください】

3月よりコース料理のメニューがかわり「春のコース料理」となります。